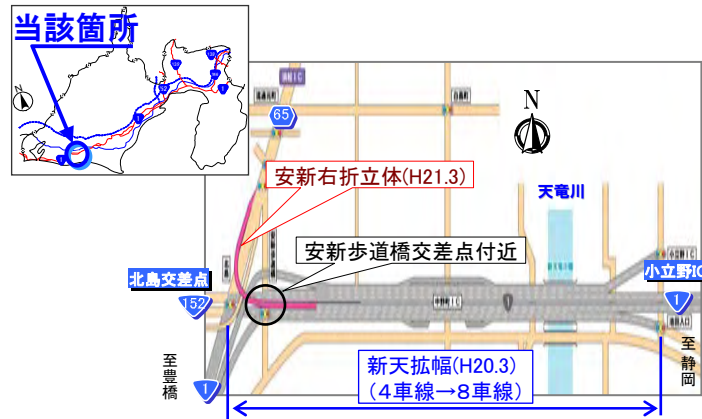


PDCAサイクルによる整備効果のスパイラルアップ(継続的な整備効果の向上)

- ・ 追突事故の削減 (交差点手前での走行速度の低下)
- ・ 交差点事故の削減 (利用者の交通安全に対する意識向上)

■位置図



◆ACTION

◆Plan: 短期事故対策の計画

手前に長い無信号区間(15km)があるため、信号交差点に対する意識が低下し、追突事故が発生している
 →信号交差点手前におけるドライバーへの注意喚起

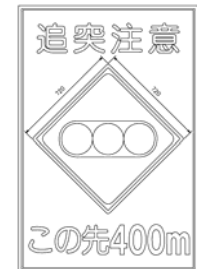
対策の実施

◆Do: 短期事故対策の実施

- ・ 交差点手前に注意喚起の路面標示
- ・ 注意喚起看板の設置



路面標示 (赤色ドットマーク)

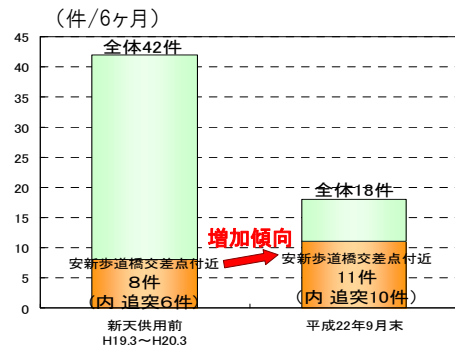


注意喚起看板 (追突注意)

整備効果の確認

◆CHECK: 事故発生状況

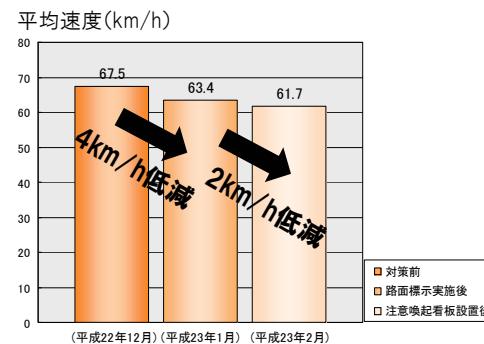
新天拡幅(H20.3)、安新右折立体(H21.3)の整備後、全体(小立野IC～北島交差点)の事故件数は大きく減少したが、当該交差点の事故件数は増加傾向にあった。



◆CHECK: 整備効果の確認

◇走行速度調査

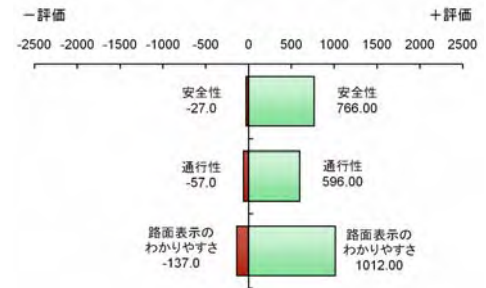
- ・ 対策後、6km/hの速度低減効果あり



対策前後の交差点進入速度(下り)

◇利用者意識調査

- ・ 対策後の安全性、通行性がプラス評価



対策後の安全性に関する意識調査結果(Webアンケート) (平成23年3月)